

寄贈図書リスト

火星ガイドブック, 鷹宏道 著, A5判, 160ページ,
2,600円+税, 恒星社厚生閣

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早く早めにお申込みください。

原稿はe-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛に, テキストデータとして扱える形式でお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

九州大学大学院理学研究院 物理学部門 基礎粒子系物理学講座 教授

1. 教授1名
 2. (1) (2) 物理学部門・基礎粒子系物理学講座
 3. 4. 宇宙物理学 (理論). 大学院・学部の教育と研究指導および全学共通教育の担当と教室運営の分担.
 5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期. 2019年4月1日までに着任希望.
(2) なし
 6. 博士の学位を有する方
 7. ○履歴書
 - 業績リスト (発表論文, 講演, 外部資金など)
 - これまでの研究の概要, および, 着任後の研究計画・抱負
 - これまでの教育実績の概要, および, 教育についての考え方・着任後の方針・抱負
 - 照会可能者2名の所属・連絡先
 - 着任可能な時期
 - 主要論文5編以内の別刷またはコピー
- 以上を郵送とともに上記の順で一つのPDFファイルにまとめて別途メール送付 (サイズ

10 MB以内) またはUSBメモリ等に記録し同封のこと。

8. 2018年9月28日 (金) 必着
9. 書類宛先および問合せ先:
〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学大学院理学研究院物理学部門
鈴木博 (選考委員長)
電話: 092-802-4040
e-mail: hsuzuki@phys.kyushu-u.ac.jp
メールアドレスの「◎」を「@」に変換してください。
10. ・封筒に「応募書類在中」と朱書き簡易書留で送付のこと。
・提出書類は返却しません。
・九州大学では, 男女共同参画社会基本法の精神に則り, 教員の選考を行います。
・九州大学では, 「障害者基本法」, 「障害者の雇用の促進等に関する法律」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨に則り, 教員の選考を行います。
・九州大学では, 国際化を推進する観点から, 採用後に英語による授業実施に積極的に取り組むことを求めています。

2019年東アジア中核天文台連合 (East Asian Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合 (EACOA) は, 研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関: 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所の連合体です。

EACOAは優秀な若手人材を対象として, 2012年からEACOA Fellowshipを創設しました。公募対象は天

文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です。自立した研究者として、さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。身分はEACOAの機関の博士研究員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関（一機関につき最短でも1年間以上滞在）で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
(2) 中国科学院国家天文台（紫金山天文台、上海天文台を含む）、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天体物理研究所のいずれか。本人の希望による。
3. 天文学、天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 3年（審査の後、2年間延長の可能性あり）
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者、国籍は問わない、英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究計画、(4) 受入れ研究者の確認書、(5) 論文リスト
8. 2018年11月15日
9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>
(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 naoj.global@gmail.com
10. 中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天体物理研究所のいずれかにEACOA Fellowの受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。EACOAでは、上記各機関が受け入れるフェローの人数がなるべく均等になるようにするため、採用に当たって調整することがあります。書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。

以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

<http://www.eacoa.net/program2019.php>

11. 月額US\$5,000の給与、年間約US\$20,000の研究費、旅費、引越費用等が支払われます。審査に当たって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2019年2月末までに直接応募者に通知されます。

2019年東アジア天文台 (East Asian Observatory (EAO)) フェロー

東アジア天文台(EAO)は、2015年に東アジアの四つの主要な天文研究機関：中国科学院国家天文台、自然科学研究機構国立天文台、韓国天文学宇宙科学研究所、台湾中央研究院天文及天体物理研究所が共同して、東アジア地域の観測天文学研究協力を促進するために、米国ハワイ州ハワイ島に設立されました。現在、マウナケア山頂にあるジェームス・クラーク・マックスウェル望遠鏡(James Clerk Maxwell Telescope (JCMT))を運営しています。

EAOは優秀な若手人材を対象として、2018年からEAO Fellowshipを創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です。EAO Fellowは、50%の時間をEAOの運用支援に使い、残りの時間はEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。

1. 研究員 1名
2. (1) 東アジア天文台(EAO)
(2) 東アジア天文台(EAO)、米国ハワイ州ヒロ.
3. 天文学、天体物理学
4. 天文台の運営支援と各自の研究や開発
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 3年
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者、国籍は問わない、英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究計画、(4) 意見書または推薦状3通、(5) 論文リスト
8. 2018年11月15日
9. (1) <http://www.eacoa.net/job/>
(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 naoj.global@gmail.com
10. 書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

http://www.eacoa.net/program_eao2019.php

11. 月額US\$5,000の給与、および引越費用(4,000米ドルを上限とする)等が支払われます。審査にあたって追加書類の提出を求めることがあります。提出書類はお返ししません。採用審査はEAO所長とEACOA審査委員会が合同で行います。結果は2019年2月末までに直接応募者に通知されます。

平成31年度国立天文台フェロー (年俸制職員 特任助教)の公募

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていたり制度です。平成27年度は1名、平成28年度と29年度は4名ずつ、平成30年度は2名を採用しています。詳しくは

(<https://www.nao.ac.jp/about-naoj/employment/jobs-fellow.html>)をご覧ください。

1. 年俸制職員 特任助教 若干名
2. (1) 受入教員の所属するプロジェクト、センター、研究部*
*研究部の名称は変わる可能性があります。
(2) 国立天文台の三鷹(東京都三鷹市大沢)、水沢(岩手県奥州市水沢星ガ丘町)、野辺山(長野県南佐久郡南牧村野辺山)、ハワイ(アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ市)、チリ(チリ共和国サンティアゴ)のいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に業務はなく、希望する研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成31年4月1日以降。ただし平成31年9月30日までに着任していただきます。
(2) 原則として着任日より5年間ですが、年度ごとに業績評価を受けていただくことになりません。契約期間満了後の更新はありません。
6. 博士の学位を取得した者または着任日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト(通し番号を付けたうえで、(i) Corresponding Authorとなっている査読論文、(ii) その他の査読論文、(iii) 査読なし論文、を分けて記載する。共著論文の場合は著者名をすべて明記すること)、(4) 主要論文3編のPDFファイル、(5) 研究計画書(受入教員を明記のこと)、(6) 応募者に対する評価書1通。
8. 平成30年9月14日(金)正午(日本標準時)(応募フォームでの応募書類と評価書の投稿)
9. (1) 下記URLの応募フォームにアクセスし、必要事項の入力と必要書類のアップロードを行うこと。<https://application.nao.ac.jp/2019/> 評価書は、応募フォームにある説明に従い、評価者がアップロードすること。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台研究連携主幹 齋藤正雄

Tel: 0422-34-3514

e-mail: appl-fellow2019@nao.ac.jp (<at>を@で置き換える)

10. 応募投稿が受理されると、自動的に確認メールが送られますが、それが届かない場合はappl-fellow2019@nao.ac.jp (<at>を@で置き換える)へ問い合わせること。

11. 採用審査: 書類および面接により候補者を選考し、本年11月初旬(予定)に開催される運営会議の議を経て特任助教として採用を決定する予定です。なお、面接は本年10月19日(金)(日本標準時)を予定しており、面接対象者には事前に連絡します。

身分・待遇:

- ・裁量労働制の常勤職員として月額給与55万円のほか、通勤手当(上限55,000円/月)が支給されます。また、年当たり100万円の研究費が配分されます。

文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険に加入していただけます。ボーナス、退職金の支給はありません。

- ・着任に必要な認められる転居を行う場合、赴任旅費が支給されます。

- ・科学研究費助成事業への応募資格があります。

- ・米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合、またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンティアゴ)に着任する場合は、手当が支給されます。

- ・ハワイ観測所に着任する場合は、ハワイ大学研究公社(RCUH)による雇用となります。給与・手当は、1ドル=100円の固定換算レートで、米ドルにて支給されます。

その他: 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/>をご覧ください。

立教大学理学部助教

1. 助教1名
2. (1) 立教大学理学部物理学科
(2) 立教大学池袋キャンパス
3. 理論物理学における宇宙物理学分野
4. 物理学科専門科目
5. (1) 2019年4月1日、(2) 2020年3月31日まで。

- その後は評価に基づき単年度契約で4回まで更新可。
6. 博士の学位を有する方（着任時まで取得見込みの方を含む）。
 7. ○履歴書（連絡先、e-mailアドレス、博士号の有無・取得見込みを明記すること） ○研究業績リスト（査読誌、その他に分割すること） ○主要論文5編以内のarXiv番号またはPDFファイルを取得するためのURL情報 ○研究業績の概要（1,500字程度） ○今後の研究計画と教育に対する抱負（1,500字程度） ○照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先（電話、e-mailアドレス等）
 8. 2018年9月21日（金）（必着）
 9. (1) 立教大学理学部物理学科 村田次郎e-mail: itp-jinji_AT_rikkyo.ac.jp（_AT_を@としてください）、(2) 同上 原田知広e-mail: harada_AT_rikkyo.ac.jp（_AT_を@としてください）
 10. 応募書類を一つのPDFファイルにまとめ、電子メールで提出先メールアドレスに添付ファイルとして提出のこと。Subjectは「理論物理助教宇宙応募書類」とし、添付ファイルは20MB以下にすること。送付後、5日以内（土休日を除く）に受け取りの連絡がない場合には提出先メールアドレスに再度ご連絡ください。
 11. 必要に応じて面接を行うことがあります。提出していただいた個人情報は、本任用業務、連絡、手続きのためのものであり、他の目的に使用されることはありません。本任用業務終了後、破棄いたします。

日本大学文理学部物理学科 教員公募

1. 助教 1名
2. 文理学部物理学科
3. 4. 理論物理学（広い意味での原子核理論）
着任後は学科専門科目を担当いただくとともに、研究室を主宰して学部4年生の卒業研究指導に従事。
5. (1) 平成31年4月1日
(2) 3年（再任可）。ただし任期満了前の審査で認められれば准教授（任期なし）に昇格可能。
6. 博士（もしくはPh.D.）の学位を有する方
7. 1) 履歴書（写真添付、e-mail記載）
2) 研究業績リスト
3) 研究概要（2,000字以内）
4) 主要論文の別刷3編（コピー可）
5) 研究計画および教育への抱負（2000字以内）
6) 推薦書1通
7) 照会者2名の氏名と連絡先

印刷した書類一式とともに電子ファイル（推薦書以外をPDFまたはWord形式）を保存した電子媒体（CD-ROMまたはUSB）を提出のこと。

8. 平成30年9月21日
9. (1) 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部物理学科 主任 石田浩
(2) 同上 千葉剛
TEL: 03-5317-9350, FAX: 03-5317-9432
e-mail: chiba@phys.chs.nihon-u.ac.jp
10. 1) 封筒に「物理教員応募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付のこと。
2) 応募書類は返却しません。
3) 書類は選考目的以外には使用しません。

研究会・集案案内

第1回量子線イメージング研究会

- 主 催：量子線イメージング研究会実行委員会
共 催：新学術領域「3次元半導体検出器で切り拓く新たな量子イメージングの展開」
新学術領域「宇宙観測検出器と量子ビームの出会い。新たな応用への架け橋。」

開催趣旨：赤外線・X線・ガンマ線等の光子や、電子、中性子、分子、イオンといった量子線を検出・解析する科学技術は、素粒子・原子核物理学、宇宙物理学、物質科学から生命科学、医学にいたる広い分野で重要な貢献を果たしてきました。近年、これらの領域のイメージング検出技術が著しく発展しています。また、理学・工学や産官学の連携も進み、新展開が生まれつつあります。ここに、分野を横断して「量子線イメージング」を議論する場を設け、科学技術の発展と新分野の創成を目指した研究会を開催します。

日 時：2018年9月25日(火)13:00から9月26日(水)13:00（予定）

場 所：京都市左京区北白川追分町
京都大学百周年時計台記念館（国際交流ホール）

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower>

参加申込:

参加費：無料

ポスター発表申込：締切 8月31日

事前登録制：締切 9月15日
ホームページ（参加申し込みを含む）

<https://soipix.jp/qbi2018.html>

その他：予算が限られますが、ポスター発表をされる学生の方には旅費補助の可能性があります。下記の事務局までご連絡ください。

SOC：常深博（大阪大学，Chair），初井宇記（理学研究所），川人祥二（静岡大学），倉知郁生（高エネルギー加速器研究機構），幅淳二（高エネルギー加速器研究機構），新井康夫（高エネルギー加速器研究機構），須川成利（東北大学），中村哲（東北大学），鶴剛（京都大学）

事務局：Local Organizing Committee Chair：
鶴剛（qbi2018@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp）

ありがとう！6m宇宙電波望遠鏡記念講演会

- 開催日時：2018年9月24日10時から12時
- 場所：鹿児島大学郡元キャンパス 稲盛会館
- 対象：どなたでもご参加いただけます
- 概要：現在、鹿児島市の錦江湾公園にある6mミリ波望遠鏡は、かつて三鷹の東京天文台で誕生し、日本の電波天文学を築く礎となりました。6m望遠鏡は今年秋に、鹿児島から国立天文台三鷹へ移設・保存される予定です。この節目に、鹿児島大学で記念講演会を開催します。
- 事前申込の要・不要：不要です。
- 参加費は無料です。
- 問い合わせ先：
鹿児島大学天の川銀河研究理工学センター
新永浩子 099-286-8960
- 関連URL：
http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/pdf/2018_6m_farewell.pdf

賞の推薦

2018年度宇宙科学奨励賞公募

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2018年度の第11回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下のとおりです。皆

様の周りで優れた業績を上げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存じの際には、是非ともご推薦いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙理学（地上観測を除く）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者：上記分野で優れた業績を上げた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日：2018年10月31日（水）必着。

表彰式：選考結果は2019年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2019年3月8日に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をしていただく。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載のうえ、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付のうえ、電子メールにてご提出ください。

お問合せ先および推薦書送付先：

〒252-5210 相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

e-mail: admin@spss.or.jp

2018年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2018年11月9日（金）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送

してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集會にて行う予定です。

林忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2018年度(第23回)林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。

対象：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者(個人または少人数の研究グループ)。

授賞件数：原則として1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)を授与する。

推薦書の形式：表題は「2018年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先(電話、FAX、e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も併記)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、FAX、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2018年度(第23回)欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astro-

nomical Society of Japan (PASJ)に投稿・出版されることを奨励するために設定したものです。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

対象論文：原則として2013年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等：原則として2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式：表題は「2018年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職・連絡先(電話、FAX、e-mail)、被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2018年度(第30回)研究奨励賞候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(2018年4月1日)にすでに正会員であってかつ35歳以下の者

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。

受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2018年11月5日(月)必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題(英語表記も)、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由(300文字程度の要旨とA4で2-3枚程度の本文)、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募してください。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject

「2018研究奨励賞応募 氏名」としてお送りください。また、提出書類は一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2018kenkyushorei full name」としてご送付ください。

郵送で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付してください。

2018年度(第18回)天文功労賞 候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者としめます。日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。天文学会の会員の方々からの候補者(団体)推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者(団体)名、功績名(1行程度)、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 Fax: 0422-31-5487・e-mail: jim@asj.or.jp)にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2018年12月17日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

2018年度(第1回)日本天文遺産 候補推薦のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることを一つの使命と考え、日本における天文学(以下、暦学も含む)的な視点で歴史的意義のある史跡・事物を日本天文遺産として認定することになりました。対象は原則として次の

ようなものになります。

- (1) 史跡・建造物: 天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品: 天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品、観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献: 歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等に対しては認定証を贈り、さらに認定されたことを示すパネルや楯等を贈ることを予定しています。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員(正会員および準会員)の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書は本誌巻末のものをご利用下さい。以下の日本天文学会のサイトからもダウンロードできます。

http://www.asj.or.jp/asj/prize/boshu_isan.html

必要事項を記入のうえ、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jim@asj.or.jp)にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただくと助かります。

2018年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2019年3月の日本天文学会春季年會会場にて行う予定です。これへの推薦は、2018年9月30日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。必要に応じて現地調査を行います。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2018年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦される必要はありません。ただし、推薦書記載の項目に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

会務案内

公益社団法人日本天文学会 2017年度 (2017年4月1日～2018年3月31日) 事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しておりますが、

書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

I.1 2017年度事業の報告

活動内容はおおむね例年どおりでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、「シリーズ現代の天文学」第5, 13, 15巻第2版の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、助成金（早川基金：23名に総額約445万円援助、学術交流費：年会学生発表者45名に総額約88.9万円補助）、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照してください。2018年3月31日現在の会員数は以下のとおりです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合 計
2017年3月31日	2,059 (506)	1,105	37	42	3,243
入 会	235 (216)	78	0	0	313
退 会	△ 171 (133)	△ 53	0	△ 3	△ 227
移籍 (増)	6 (0)	11	—	—	17

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合 計
移籍 (減)	△ 11 (2)	△ 6	—	—	△ 17
正会員へ (学生減)	△ (82)				
2018年3月31日	2118 (505)	1,135	37	39	3,329

I.2. 2017年度決算の報告

2017年度の経常収益は前年度より7,283,241円減、経常費用は同2,829,413円減、学会の正味財産は2,410,546円微減し、139,867,952円となりました。受取会費は39,739,000円で3,645,000円減少しており、それは正会員会費を一時的に値下げした効果です。

Oxford University Pressに委託して収支が改善していた欧文研究報告 (PASJ) 事業では、収益が増え経費を上回りました。助成事業は賛助会費および寄付によって運営されています。研究奨励賞と早川幸男基金に寄付をいただきました。ありがとうございました。事業別決算書内訳は以下のとおりです。

(文責庶務理事：伊王野大介，会計理事：早野裕)

事業別決算書内訳表

2017年4月1日から2018年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

(単位：円)

科目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小計
経常収益計	19,221,673	35,643,075	2,973,445	7,285,652	1,351,828	66,475,673
経常費用計	14,397,840	28,665,379	12,770,605	9,863,999	3,671,790	69,369,613
当期経常増減額	4,823,833	6,977,696	△ 9,797,160	△ 2,578,347	△ 2,319,962	△ 2,893,940

科目	公益目的事業						公益目的事業計
	助成事業						
	学術交流費事業	内地留学事業	研究奨励賞事業	早川基金事業	林賞事業	小計	
経常収益計	1,320,072	324	472,067	4,460,208	515,846	6,768,517	73,244,190
経常費用計	889,810	324	472,067	4,460,208	515,846	6,338,255	75,707,868
当期経常増減額	430,262	0	0	0	0	430,262	△ 2,463,678

科目	法人会計	内部取引消去	合 計
経常収益計	19,415,229	0	92,659,419
経常費用計	18,034,292	0	93,742,160
当期経常増減額	1,380,937	0	△ 1,082,741

入会・移籍・退会のお知らせ

2018年3月14日および5月19日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：46名 準会員：23名
 移籍 準会員→正会員：2名 正会員→準会員：9名
 退会 正会員：132名 準会員：58名 賛助会員：1名

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2019年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像（以上は編集委員より提供）、および背景イラストから構成されます。そのすべての配置も含めたデザインをお願いいたします。毎号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に表紙画像があります。）

応募される方は、天文月報投稿用アップローダーを使用し、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。カラーはCMYKで作成をお願いします。

形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（12万円/一年分）

締切り：2018年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいてまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイ

ルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。（それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください）。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

（天文月報編集長）

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆にあたりましては、日本天文学会HP内、「天文月報」のページにあります「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご活用ください。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtexテンプレートの中から文字コードに応じたものを、MSWordで執筆される方はword用のテンプレートをご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

訃 報

1981-83年に当学会副理事長を務められた
 浜田哲夫氏は2018年4月23日にご逝去されました（享年90歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol111** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

小宮山裕 (委員長), 上野悟, 岡部信広, 奥村真一郎, 押野翔一, 滝脇知也, 富田賢吾, 中村航, 萩原喜昭, 松田有一, 諸隈智貴, 山田真也

平成30年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2018年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)